

2018
Vol.20

九大別府病院 だより

Kyushu University
Beppu Hospital



病院の理念・基本方針

理 念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の実現を目指します。

基本方針

- ◆ 広域医療圏拠点としての連携体制の構築
- ◆ 高度先進医療を支える医学研究の推進
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の養成
- ◆ 小児から高齢者まで包括する移行期医療の充実
- ◆ 国際化の推進

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

トピックス 2～3

病院地区再開発

第6回東部医療圏地域医療連携セミナー

九州大学病院別府病院「臨床指導教授」の称号付与
看護室のホームページのリニューアル

新任医師の紹介 4～5

紹介元の医療機関のご紹介 6～7

～諫山整形外科医院～

外来診療案内等 8



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital

病院地区再開発について

九大別府病院は昭和6年10月31日に九州帝国大学温泉治療学研究所として創立されて以来、関節リウマチや悪性腫瘍、循環器疾患、脊椎疾患などの難病に対して質の高い医療の提供と世界的レベルの研究成果の発信を行ってきました。

このような歴史をふまえ、当院は現在、別府市の地域再生計画（内閣総理大臣認定「生涯活躍のまち」形成事業）の大学等との連携による「健康にぎわい拠点」形成の中核として位置づけられており、地域との交流を深めることが期待されています。

今後未来にわたって当院がその役割を果たし、地域の期待に応えていくためには、最新の設備を擁する新病院建築は必要不可欠であり、その計画を円滑に進めるために2017年11月に「再開発に向けた基本構想」

を策定し九州大学執行部、文部科学省高等教育局への説明も行いました。5年後の2023年を新病院開院の目標としており、新病院では特色ある専門性を備えた急性期病院として整備、拡充されます。

また、10万平米におよぶ広大な敷地の再開発も同時に行うため、別府市各部局ならびに民間の外部有識者の方を含めたワーキンググループを定期的に開催しています。当院の敷地を有効活用することによって、別府市とともに連携して地域の活性化に貢献し、市民の皆様の健康増進のお役に立ちたいと考えています。

6月12日には、堀内孝彦別府病院長が長野恭紘別府市長を訪問し、別府市と九大別府病院がお互いに協力し、連携をとって病院地区再開発事業の推進を図る確認をいたしました。これから職員一丸となって再開発に取り組んで参りますので、引き続き皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。



堀内病院長（左）と長野市長（2018年6月12日）

「第6回東部医療圏地域医療連携セミナー」を開催しました。

平成30年3月5日(月)に第6回東部医療圏地域医療連携セミナーを開催しました。

当院副病院長 三森教授の開催挨拶に続き、前半は当院内科の前田准教授の司会により、①「原発性副甲状腺機能亢進症に対する治療戦略について」（井林雄太医師）、②「骨髄異形成症候群（MDS）に対するダルベポエチン治療について」（伊藤能清医師）、③「別府・大分地区における関節リウマチレジストリについて」（木本泰孝医師）の一般講演を行いました。

後半は当院病院長 堀内教授の司会により、「自己免疫疾患の成因」と題して、当院リウマチ膠原病内科学共同研究部門の塩沢俊一特任教授と、「今日の乳がん診療」と題して、うえお乳腺外科副院長 甲斐裕一郎先生に特別講演を行っていただきました。



うえお乳腺外科 副院長 甲斐裕一郎 先生

九州大学病院別府病院「臨床指導教授」の称号付与について

九大別府病院では、今年度より、当院における診療、教育及び研究にご協力いただいている学外の医療機関の優れた先生方に対する称号付与制度を開始しました。

付与の期間は1年間（ただし年度内とし、再任可）としています。院内に設置する臨床指導教授等選考委員会で審議を行い、当院の最高議決機関である別府病院運営会議で正式決定されました。この制度は九州大学医学部医学科臨床教授等と同様の制度により付与証を授与するものです。選考基準は、①医療機関等における豊富な臨床経験と優れた臨床能力及び教育研究能力を持ち、②臨床指導教授は20年以上、臨床指導准教授は15年以上、臨床指導講師は10年以上の臨床経験を有する医師であり、③原則として65才以下であることとなっています。

このたび、平成30年4月1日付けで9名の先生方に臨床指導教授の称号が付与されました。

平成30年度九州大学病院別府病院臨床指導教授（五十音順）

生山祥一郎 先生（大分三愛メディカルセンター）

上尾 裕昭 先生（うえお乳腺外科）

大塚 栄治 先生（大塚内科リウマチ科クリニック）

織部 元廣 先生（織部リウマチ科内科クリニック）

田中 文明 先生（たなか乳腺・外科・内科クリニック）

常富 亘人 先生（つねとみ内科胃腸科クリニック）

畑 知二 先生（畑病院）

藤吉 健児 先生（藤吉乳腺クリニック）

宮原 寿明 先生（国立病院機構九州医療センター）



九州大学病院別府病院看護室のWEBサイトを全面リニューアルいたしました。

看護室の取り組みや活動、当院ならではの質の高い医療、教育体制などのコンテンツが満載です。また、看護師を目指す人たちに、より快適に看護室紹介や院内の雰囲気などをご覧いただけるようにスマートフォン対応を行い、分かりやすく見やすいレイアウトにより、当院で看護職員として働く魅力が詰まったサイトとなっています。



九大別府病院看護室URL <https://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/nurse/>

内 科



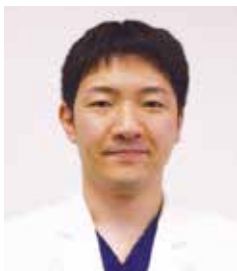
亀崎 健次郎 (かめざき けんじろう)

平成30年4月より九州大学病院別府病院免疫・血液・代謝内科に赴任いたしました亀崎健次郎と申します。出身は福岡市です。平成10年に九州大学医学部を卒業後、九州大学病院、宮崎県立病院、北九州市立医療センターなどで血液疾患の研究、診療を行って参りました。大分・別府は初めての勤務になります。別府病院では、悪性リンパ腫、骨髄腫、白血病などの造血器悪性腫瘍の化学療法、再生不良性貧血、骨髄異形成症候群などの骨髄不全症の治療を担当させていただきます。患者さん本位の診療を心がけ、地域の医療に貢献できるように頑張っていくつもりですので、よろしくお願い申し上げます。



村上 哲晋 (むらかみ てっしん)

平成30年4月より九州大学病院別府病院の内科に赴任致しました、村上哲晋と申します。昨年度は福岡市東区の九州大学病院本院で業務に就いておりました。専門はリウマチ膠原病で、関節リウマチや全身性エリテマトーデスといった自己免疫疾患に対する診療に携わっております。まだ地域の特性も十分に把握できておりませんが、当院の諸先輩方にご指導頂きながら、外来診療や入院業務に努めて参りたいと思います。至らない点が多々あることは存じておりますが、日々研鑽を積んでいく所存でありますので、今後とも何卒宜しくお願い致します。



奥村 祐太 (おくむら ゆうた)

平成30年4月に免疫・血液・代謝内科に赴任致しました奥村祐太と申します。出身は広島県広島市です。平成22年に九州大学を卒業後、福岡県の麻生飯塚病院で2年間の初期研修を行い、九州大学第一内科に入局致しました。昨年まで九州大学病院血液・腫瘍・心血管内科で腫瘍内科医としてがんの診療にあたって参りました。がん薬物療法が専門ですが、患者さんを中心に、外科・放射線科・看護師・薬剤師・社会福祉士等、様々な方々と連携をとりながら最適な医療を提供できるよう、がん医療のコーディネーターとして役割を果たせるよう努めて参りたいと存じます。患者さんひとりひとりがより良い生活を送ることができるよう、微力ながら貢献して参りたいと存じますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

外 科



大津 甫 (おおつ はじめ)

平成30年4月より外科助教として赴任いたしました大津甫と申します。平成20年に九州大学医学部を卒業後、平成22年に九州大学第二外科に入局し、大学院を卒業。臨床・研究に携わって参りました。専門領域は消化管（胃・大腸）で、腹腔鏡手術も積極的に行ってまいりました。本年度からは、臨床スタッフとして当院に赴任させていただきます事となりましたので、これまでの経験を存分に発揮し、皆様の力になれる様、精一杯精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



吉川 幸宏 (よしかわ ゆきひろ)

平成30年4月より九州大学別府病院外科に赴任しました吉川幸宏と申します。平成22年に神戸大学医学部を卒業後、大阪大学消化器外科に入局し、平成28年4月より研究生として参り、現在大腸がんの研究をしております。臨床および研究で貢献できるよう、一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

放射線科



本村 有史 (もとむら ゆうし)

平成30年4月より放射線科医員として赴任いたしました本村有史と申します。平成23年に九州大学医学部を卒業後、出身地長崎の医療センターで初期臨床研修を行い、平成25年に九州大学放射線科に入局いたしました。福岡、佐賀、八幡、九大病院、小倉など北部九州各地で画像診断や血管内治療、および専門としております癌に放射線をあてる「放射線治療」について経験を積んできました。病院に来られる患者さんの治療や、また研究を通してがん医療の発展にも、お役に立てればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

専門医：日本医学放射線学会・放射線科専門医

整形外科



齋藤 武恭 (さいとう たけゆき)

4月に赴任して参りました、整形外科 齋藤武恭と申します。これまでに九州中央病院、県立宮崎病院、済生会八幡病院、総合せき損センター、九州大学病院等で勤務して参りました。当院では、整形外科疾患の中でも脊椎疾患を中心に診療を行って参ります。患者さんの痛みの軽減、および日常生活動作の向上のために、手術および保存的療法の両方を大事に行って参ります。学生時代にサッカーで養った体力で頑張って参ります。今後ともよろしくお願い致します。



大山 龍之介 (おおやま りゅうのすけ)

平成30年4月より赴任して参りました大山龍之介と申します。平成26年に岐阜大学医学部を卒業した後、北九州総合病院で初期臨床研修を行い、JCHO九州病院、九州大学病院救命救急センター、九州医療センター救急部に勤務して参りました。少しでも地域の皆様のお役に立てるよう一生懸命頑張りたいと思っております。何卒宜しくお願い致します。

麻酔科



蛭原 綾 (えびはら あや)

平成30年4月より麻酔科へ赴任いたしました蛭原綾と申します。鹿児島県霧島市出身で、鹿児島大学を卒業後、横浜市立大学附属市民総合医療センター、北九州市立医療センターで診療しておりました。別府の自然と美味しい物が大好きです。ここで優しいスタッフの方々とお仕事をさせてもらえることを幸せに思います。今後ともよろしくお願い致します。

諫山整形外科医院

院長 諫山 哲郎 先生



諫山整形外科医院



諫山哲郎院長

平素より九大別府病院の先生方には、いろいろとお世話になっております。とくにリウマチ性疾患や脊椎疾患などの患者さんのご紹介に関しては、的確な診断と治療を行っていただき感謝申し上げます。温研時代より、内科医局は日本のリウマチ研究のトップランナーとしての地位を確保されていることは申すまでもありませんが、現在、温研出身のリウマチ専門医の先生方が県内各地でご活躍中であり、御同慶の至りに存じます。

私は、昭和57年に九大整形外科医局からローテーションとして国立別府病院と別府整肢園にて研修させていただきました。その後、九大での研修を経て昭和60年に国立別府病院に直野敬医長のもとで勤務いたしました。その際、温研の延永正教授、神宮政男助教授とは直野先生が懇意にされていたこともあって、ご指導を賜りました。神宮先生との共同研究では、平成3年4月の日本リウマチ学会で「RA骨髄におけるスーパーオキシド産生」という演題で発表させていただきました。その研究では大阪大学の越智隆弘教授にも共同演者となって頂き貴重な経験をさせていただきました。

延永教授の後任として山本一彦先生が着任されましたが、患者さんを通して山本先生にもご指導賜りました。山本教授は東京大学に戻られて現在、

日本リウマチ学会の理事長としてご活躍中ですが、日本でトップクラスの研究者でありながら実直なお人柄であり、臨床面でも患者さんに寄り添う診療姿勢が大変印象に残っております。

ところで、生物学的製剤が一般的になった現在では、関節リウマチの早期発見早期治療が以前にもまして重要となっています。整形外科外来には手のこわばりや関節痛で来院される患者さんも多く、特に「早期関節リウマチ」を見逃さないよう注意をしております。堀内孝彦教授はじめ医局の先生方には、今後もお世話になることが多いと思いますので何卒よろしくお願い致します。

さて、平成23年に九大整形外科の岩本幸英教授のご尽力で九大別府病院に脊椎・脊髄に特化した整形外科が開設され、土井俊郎先生が准教授として赴任されましたが、別府市民のみならず大分県民にとって待望の診療科でした。別府市内では別府医療センターの島田信治先生が一人、脊椎を専門として頑張っていました。椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などの患者さんは別府から大分市へ手術を受けに行く患者さんも多くいらっしゃいました。島田先生の堅実な手術手技と一緒に勤務していたこともありよくわかっていますが、彼一人でとても対応できる患者さんの数ではない状況で

◆DATA

住 所: 大分県別府市南莊園町20組

電 話: 0977-23-1380

資 格: 日本専門医機構及び日本整形外科学会認定
整形外科専門医
日本リウマチ学会認定
リウマチ専門医

診療科目: 整形外科、リウマチ科、
リハビリテーション科

◆アクセスMAP



した。岩本教授はこのような別府市の現状をよく認識されて、脊椎外科専門の診療科を開設されたと伺っています。土井先生の大変なご努力により軌道に乗ってきた脊椎外科でしたが、平成29年3月で土井先生が転勤されたことは大変残念でした。しかし、交代として九大病院脊椎外科のエースである播広谷勝三先生が赴任され、先生の実績を拝見するにつけ、中島康晴現九大整形外科教授には、別府市民として大変ありがたい人事をして頂いたと感謝しています。

私は、自院の診療とは別の仕事として、平成14年に日本臨床整形外科学会の医療安全倫理委員会のメンバーとなり、今に至っております。平成11年1月に発生した横浜市大患者取り違え手術（業務上過失傷害で有罪判決 5名 横浜地判 平13・9・20）、同年2月に都立広尾病院で発生した、関節リウマチ患者である58歳女性への消毒液（ヒビテン）誤注入事件（実施看護師2名は業務上過失致死で有罪、担当医、院長は医師法21条違反すなわち異状死体届出義務違反などで有罪 最判平16・4・13）並びに平成18年2月に産婦人

科医が業務上過失致死と医師法21条違反で逮捕された福島県立大野病院事件（無罪確定 福島地判 平20・8・20）など医療安全に関して重大事件が発生し、平成27年10月1日施行の「医療事故調査制度」につながるわけですが、私の委員会活動の時期が、世間的にも医療事故に関心が寄せられた時期と重なって、整形外科学会会員への警鐘活動に事例報告や学会シンポジウムなどを通じて、結構大変な労力を必要としました。本年6月にはこの委員会をやっと退任できる見込みでほっとしています。

今後は、自院の診療に専念できるようになると思います。また、三森功土外科教授、平川雅和放射線科准教授とは放談会などでフランクにお話をさせていただき、九大病院別府病院には誠に勝手ながら、大変親近感を感じております。今後とも、九大別府病院のご協力を仰ぐことも多いかと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

当院へご紹介いただいている先生方の「紹介元の医療機関のご紹介」を掲載しています。広報誌は、県内の医療機関（病院・医院・クリニック）、九州大学病院本院（福岡）、別府市内の施設関係等に配布しております。掲載をご希望の医療機関は、地域医療連携室（0977-27-2055）までご連絡いただけますようお願いいたします。

（地域医療連携室長 平川 雅和）

九州大学病院別府病院 外来診療案内

(平成30年7月1日現在)

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ・膠原病	堀内孝彦 木本泰孝 村上哲晋	堀内孝彦 押領司大助	木本泰孝 村上哲晋	病棟回診日	堀内孝彦 木本泰孝 押領司大助
	糖尿病	井林雄太	—————	—————		井林雄太
	血液病	—————	亀崎健次郎	亀崎健次郎		亀崎健次郎
	がん・腫瘍	奥村祐太	奥村祐太	—————		奥村祐太
	慢性疼痛	—————	前田豊樹	前田豊樹	前田豊樹(再来)	—————
	骨粗鬆症	—————	前田豊樹	前田豊樹	前田豊樹(再来)	—————
	循環器病一般 心不全・肺高血圧外来 血管疾患外来 睡眠時無呼吸外来	樋口義洋 得能智武	樋口義洋 得能智武 午後 心血管カテーテル 検査・治療日	樋口義洋	樋口義洋 午後 心血管カテーテル 検査・治療日 (予備日)	得能智武
外科	一般消化器管門	三森功士 江口英利 大津甫	三森功士 手術日	三森功士 黒田陽介 大津甫 鶴田祐介	三森功士 手術日	三森功士 江口英利 黒田陽介
	肝・胆・膵	江口英利	手術日	黒田陽介	手術日	江口英利 黒田陽介
	乳腺	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明
整形外科 (脊椎・脊髄)	脊椎外科 (完全予約制)	手術日	飯田圭一郎 齋藤武恭 大山龍之介	手術日	播広谷勝三 飯田圭一郎 齋藤武恭 大山龍之介	播広谷勝三
放射線科	放射線治療	脇山浩明	脇山浩明	—————	脇山浩明	—————
	放射線画像診断	平川雅和	坂本勝美	平川雅和	平川雅和	平川雅和
共通	上部消化器内視鏡	江口 / 鶴田	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	江口 / 鶴田
	下部消化器内視鏡	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美
	EMR / ESD	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美
	ERC P	—————	—————	—————	—————	—————
	セカンドオピニオン	要 予 約				

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

新患
受付時間

8:30～11:00

再
受付時間

8:30～12:00

(予約の方は除く)

・整形一完全予約制・地域医療連携室へ要Tel・放射線治療一初診 8:30～11:00

※但し土日、祝日は休診(急患は除く) 代表電話:0977-27-1600、地域医療連携室:フリーダイヤル:0120-272-518、直通:0977-27-2055

地域医療
連携室より問合せ先
ご案内

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722(直通)

- ・検査依頼は、電話にて受け付けております。
依頼検査優先時間帯を設けています。
- ・結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

- ・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- ・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、待ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関する
お問い合わせ

月～金 8:30～17:00 ☎0120-272-518(専用)

TEL:0977-27-2055(直通) FAX:0977-27-3008(24時間受信可)

九大別府病院だより Vol.20



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原 4546 番地

代表 TEL 0977-27-1600

URL <http://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/>